

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	2	3		小学生プログラムが開始し環境整備・構造化に課題を感じる点があるので、安全面に留意し適宜工夫する。日によって人数が異なるが、密を避けるなど工夫して活動している
	②	職員の配置数は適切であるか	5			職員が増員され、負担が軽減されてきた。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	1	4		やはり階段への不安は残る。ライト設置をしているが不安のある方は同行、見守りしている。
業務改善	④	業務改善を進めるための、P D C A サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	4	1		情報共有に参加しやすい。
	⑤	保護者等向け評価票を活用するなどによりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5			毎年度末に行っている。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5			毎年度末に行っている。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	1	2	2	少ないので検討したい。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4	1		さいたま市社協開催の研修に職員を参加させている。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析したうえで、放課後等デイサービス計画を作成しているか	4	1		面談は本人も同席のもと、保護者と本人の意向を丁寧に聞き取りしながら支援計画の作成につとめている。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5			A B A を支援の中で意識するように指導している。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5			職員会議時に様々な意見を聞き、総合的に利用者にあった内容を検討している。
	⑫	活動プログラムを固定化しないよう工夫しているか	5			固定すべきものとしながらいずれも良いものがあるので、バランスを見て組むようにしている。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	5			個々の課題に合わせて設定している。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	5			個別活動は毎日、集団は月に6日間設定して開催している。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5			情報共有は意識し、利用者の支援のポイントは常に共有するようにしている。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	4	1		毎日できない時もあるが概ね共有できている。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5			保護者への連絡は各プログラムごとにできるだけ詳細にお伝えしている。また、記録も同様に配慮している。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	5			半年に一回、実施している。計画は全員半年毎に新たに支援計画を発行している。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	2	3		ガイドラインは周知しているが、就労特化型ゆえ内容がそぐわない部分がある。

関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5			児発管が参加している。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	5			学校とメールを通じて送迎時の注意点など連絡を確認している。学校の予定については、基本的に保護者を經由して確認させていただいている。
	㉒	医療ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	3	2		対象の児童が現在いないが、受け入れの際は事前によく確認する事とする。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	1	3	1	相談員を介しての収集はしている。小学生サービスを開始したので、これから連携の必要は高くなると思われる。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	3	2		当法人の就労支援施設に行かれた方は情報共有を予めするよう対応している。また他法人において必要がある時には会議に参加し、利用者の情報を共有できるようにしている。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3	2		毎年8月にひまわり学園の出張療育相談を受けている
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会はあるか	1	1	3	開催していない。特にニーズもないので今後開催する予定はない。
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか		3	2	参加してみたいと思っている。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝えあい、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5			都度、しっかり様子を伝えているので共有できていると感じる。
保護者への説明責任等	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	3	2		電話相談なども対応している。外部機関の講師を招いて、年に1回は保護者向けに講座を開催するようにしている。
	㉚	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5			契約の際に、丁寧に説明するよう努めている。保護者にも疑問点がないか確認しながら契約している。
	㉛	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5			些細な事でも、本人に気になる事があれば情報を共有するように日々努めている。
	㉜	父母会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		3	2	保護者の負担とならないよう特に父母会を設けていない。保護者からのニーズもない。
	㉝	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4	1		苦情に至る前に事前に十分説明するよう日々努めている。また、苦情があった場合にも本人やご家庭に不利益のないよう、要望を汲み取れるように体制を整えている。
	㉞	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5			どっば通信を年に3回程度発行し活動を発信している。
	㉟	個人情報に十分注意しているか	3	2		利用者に係る情報提供が必要な場合は事前に確認する事、また必要最低限にとどめるよう留意している。
	㊱	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	4	1		日々、丁寧に説明するよう留意している。利用者や保護者にきちんと伝わっているか確認しながら話を進めるよう留意している。
	㊲	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		2	3	コロナ禍もあり、今年度の開催はできなかった。

非常時の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	3	2		防犯マニュアルも整備していく予定でいる。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出そのほか必要な訓練を行っているか	5			4月、10月と例年避難訓練を開催している。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4	1		今年度はオンラインによる開催となるが、参加するようにしている。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分説明し了解を得たうえで、放課後等デイサービス計画に記載しているか	2	3		契約の際に伝えているが、現在概要する児童がいない。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	2	3		契約の際に伝えているが、現在概要する児童がいない。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5			些細な事でも提出するように指導し、職員で回覧して共有するようにしている。